

広島大学WRC

アカデミックライティングスキルの向上を支援します。

◆2022年1月～3月 英語論文作成相談

Consultation on Research Papers in English

英語学術論文や国際学会抄録を作成するための相談ができる「英語論文作成相談」に2022年1月からライティングアドバイザーフェローのジャックリーン・タイが加わります。

※文章全体を校正する、いわゆるネイティブチェックは行っていません。

➤ 相談内容・時間

■日本語による相談

河本 健 特任教授が、論文の構想、全体の構成や展開、論文のスタイル、図表の作り方などについてアドバイスします。書き始める前や途中の段階からでも相談することができます。

時間：月曜日、火曜日、水曜日、金曜日

① 3コマ目 (12:50-13:35)

※1回の相談時間は45分です。

■英語による相談

アディナ・スタイコフ助教、ワン・ティンジア助教とライティングアドバイザーフェローのアデル・ピットキートリとジャックリーン・タイ、が、論文全体の構成や展開、論理の一貫性、文章のスタイル、文法などについてアドバイスします。 ※1回の相談時間は40分です。

時間：◆アディナ・スタイコフ

木曜日

① 8:40～9:20

② 9:40～10:20

◆ワン・ティンジア

月曜日

① 9:40～10:20

② 10:40～11:20

火曜日

① 13:30～14:10

② 14:30～15:10

◆アデル・ピットキートリ

水曜日

① 2時限 (9:30～10:10)

② 5時限 (12:50～13:30)

③ 7時限 (14:35～15:15)

◆ジャックリーン・タイ

金曜日

① 3時限 (10:40～11:20)

② 6時限 (13:30～14:10)

③ 7時限 (14:35～15:15)



➤ 対象文章

「英語」で書かれた投稿予定の論文または学会抄録、及び学会発表原稿です。

※レポート等の相談は、学生チューターによるライティング相談をご利用ください。

➤ 予約

英語論文作成相談は完全予約制です。オンライン予約でお申込み下さい。

予約状況や申込み方法の詳細は、ライティングセンターHP

(www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/) をご覧ください。

申込みはWEBで!



◆ライティングセンター専任教員

河本 健 特任教授

河本教授は、大阪大学大学院博士課程修了。医学博士。専門は分子生物学と英語論文コーパス研究。基礎医学研究の傍らライフサイエンス辞書プロジェクト (<https://lsd-project.jp/>) のメンバーとしても活動し、学術用語の正しい使い方の啓蒙活動を行ってきました。ライフサイエンス辞書コーパスなどを活用して集めた、学術論文を書くための情報を「ライフサイエンス 英語表現使い分け辞典」「トップジャーナル395編の『型』で書く医学英語論文」など多数の著書にまとめています。

【担当授業】

- ・論文英語修辞学 I
- ・英語論文修辞学
- ・学術的文章作成の基礎
- ・論文英語修辞学演習
- ・学術文章の書き方とその指導法
- ・アカデミックライティング基礎



アディナ・スタイコフ助教 Adina Staicov

スタイコフ助教はスイス出身で、2019年5月にライティングセンター専任の助教として着任しました。2016年にスイス・チューリッヒ大学にて博士号（社会言語学）を取得し、チューリッヒ大学在学中には、学部生向けの社会言語学、英語学のコースを担当していた他、北西スイス応用科学・芸術大学にてアカデミック・ライティングコースを教えた経験があります。自身の専門とこれらの実務経験を生かして、英語学術論文執筆をサポートします。

【担当授業】

- ・論文英語修辞学 I
- ・アカデミックライティング基礎



ワン・ティンジア助教 Tingjia Wang

ワン助教は、オーストラリア・シドニー大学で博士号（言語学）を取得した、機能言語学および社会記号論の専門家です。応用言語学、教員養成、社会記号論からコミュニケーション論まで幅広く研究しています。広島大学ライティングセンターに2020年12月に着任する前は、オーストラリアで学際的な研究および教育に幅広く携わっていました。Routledge出版の他、Multimodal Literacy（多種のコミュニケーションモードを活用する技能）とデジタル教育に関連するTESOL（第二言語としての英語教授法）分野の学術誌で外部レビュアーを務めています。



◆ライティングアドバイザーフェロー

アデル・ピットキートリ Adele Pitkeathly

アデル・ピットキートリ氏は、オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学附属の語学学校 Institute of Languages の元Director of Studies です。Institute of Languages は、2,000名以上の留学生、150名の英語教員を抱える組織です。ピットキートリ氏は、15年以上の英語教育コースでの教育およびコーディネイト業務の他、TESOL教員養成、IELTS試験官、留学生アドバイザーなどの経験をお持ちです。また、国際化を目指す海外の協定校や政府組織の教育プログラムの策定にも携わっています。なお、ピットキートリ氏は、オーストラリアからリモートで相談に対応します。



ジャックリーン・タイ Jacqueline Tay

ジャックリーンは、アメリカ・メリーランド大学で博士号を取得した海洋学者です。大学院在籍中は、科学論文（scientific writing）と科学広報コースをティーチングアシスタントとして担当し、70名をこえる幅広い理系学生の論文執筆やプレゼンテーションの指導を行っていました。それ以来、“科学を広報すること”と“コメディにおける即興”という彼女自身の二つの関心を応用して「科学広報のための即興力」というワークショップを行っています。ジャックリーンは、研究者が自身の研究を説明し、それが聴衆の心に響き、影響を与えるのを助けることを楽しんでいますが、彼女はスイスに住んだことがあり、今は日本での生活を楽しんでいます。

